

ふるさと大使が故郷で共演
 ❖ 田中菜緒子さんCD発売ライブ
 石橋凌さんと久留米ゆかりの曲披露



来場者は田中さんのファンに加え、石橋さんのファンも多く、石橋さんが登場すると大きな拍手が起こりました

くるめがすり久留米餅を使ったステージ衣装で演奏を披露する田中さん



7月12日、くるめふるさと大使の田中菜緒子さんが久留米ゆかりの曲を収めたCDを発売し、久留米シティプラザでライブを行いました。CDは藤井フミヤさんなど市出身歌手の曲や「そろばん踊り」などのジャズアレンジを収録。同プラザでライブ当日は、収録曲を中心に13曲が披露されました。後半には同大使の石橋凌さんがゲスト出演し、「久留米に若者が帰ってくるように、共に文化面で発信したい」と話しました。アンコールは、市ゆかりの作曲家、中村八太さんの代表曲「下を向いて歩こう」。観客も一緒に歌いながら、ライブを締めくくりました。

九州初公開のカイユボットの「ピアノを弾く若い男」に見入る来館者



耳納連山や列車を眺めながらゆっくりと過ごせます

懐かしの作品や九州初公開も

❖ プリチストン美術館コレクション展

市美術館で、プリチストン美術館コレクション展「名画が奏でる8つのフーガー」が7月14日から始まりまし。石橋財団が所蔵する約2600点の中から、セザンヌやモネなど8人の作品を中心に96点を展示。初日から多くの人が来場し、青木繁など以前常設されていた作品を懐かしんでいました。九州初公開のカイユボットの作品も公開しています。会期は、9月9日(日)まで。

市政の動き

久留米がカザフスタン共和国の東京五輪事前キャンプ地に



調印後に握手を交わすカナガトフ部長(中)と小川洋典知事(左)、大久保勉市長

福岡県と久留米市は、カザフスタン共和国と2020年の東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ地について基本合意に至り、7月24日に調印式を行いました。同国は、開催年の7月中旬に、九州最大級のスポーツ施設「久留米アリーナ」を中心に、柔道をはじめボクシングやレスリングなどのキャンプを行う予定です。県と市は、昨年2月に同国に職員を派遣。充実した

練習施設や医療環境などをPRし、誘致活動を行いました。その後、昨年5月に同国視察団の訪問を受け、今回の合意に達しました。同国オリンピック委員会スポーツ部長のイルシャール・カナガトフ氏は、調印式で「久留米アリーナは、我が国の強化種目に適した施設。充実した準備ができそうです」と話しました。◎体育スポーツ課(☎0942・30・9226、FAX0942・38・2259)

新たなPR動画を2本公開

市は、久留米の魅力発信する2本の動画を公開しました。

- 一つは、くるっぱとダンスチーム九州男児新鮮組とのコラボレーション動画。市内の名所でブレイクダンスを披露します。もう一つは、テンポの良いオリジナルの歌とともに、40種類の農産物を紹介する動画。市とJAで作る協議会で制作しています。動画は、市ホームページやYouTubeなどで見られます。
- ◎シティプロモーション課(☎0942・30・9228、FAX0942・30・9703)
- ◎農政課(☎0942・30・9163、FAX0942・30・9717)



九州男児新鮮組とのコラボ動画(上)と農産物のPR動画

福岡久留米館オープン一周年

7月21日と22日、東京新橋のアンテナショップ福岡久留米館のオープン一周年を記念し、感謝祭が開かれました。



お客さんに記念品を渡す藤吉久美子さん

店内では、季節のフルーツの試食会や地酒の飲み比べ、特産品が当たる抽選会などがありました。22日には、くるめふるさと大使の藤吉久美子さんが来店。お客さんに同大使のサイン入り名刺や記念品の餅ハンカチを配り、イベントを盛り上げました。

◎広域行政推進課(☎0942・30・9114、FAX0942・30・9703)